

はじめに

はじめに

数ある本の中から本書をお選びいただきまして、本当にありがとうございます。

私は、つくもぐるみという少々不思議な、ぬいぐるみを制作販売していますミカと申します。

2021年に起業して、ぬいぐるみの制作販売を始めました。

2022年から毎月、トークイベントを開催しています。

トークイベントでは、つくもぐるみを作ることになった経緯や、

つくもぐるみとは、どんなものなのか？

つくもぐるみと暮らす生活がどんなものか？

そして、日々起きる不思議な体験などを、話しています。

そのトークイベントも、2023年の十一月で十七回目になりました。

つくもぐるみを、もっと沢山の方に知っていただきたくて、このトークイベントの内容を、

書籍化することにいたしました。

同じ内容を話している部分もありますが、

あえて削除しないで、そのままの形で掲載しています。

トークイベントの臨場感も、感じていただけたら、大変嬉しく思います。

どうぞ、お楽しみください。

ミカ

目次

はじめに

第一回トークイベント

2022年6月

はじめまして

第二回トークイベント

2022年7月

ペットの話

第三回トークイベント

2022年9月

スピリチュアル起業家へのトークイベント

おわりに

感謝

【登場するつくもぐるみ®】



中学生の時に初めて
作ったお人形

いつも持ち歩いていた
韓国人アーティストの
お人形達





ペキニーズ犬
の
めめ様

フクロウの
幸さま





白龍のはく様と
ハムスターの
福ちゃん

パグ犬の
はなちゃん





初めての
ウサギの
あぐちゃん

作り
直した
あぐちゃん



第一回トークイベント

2022年6月

はじめまして

はじめまして

みなさま、こんにちは。

本日は、つくもぐるみと交流できる初めてのトークイベントに

ご参加くださいます。本当にありがとうございます。

本日のプログラムから、先に説明させていただきます。

一時間は、私 つくもぐるみアーティストのミカが、トークをいたします。

そして、休憩をはさみまして、実際につくもぐるみと交流していただきます。

それぞれ、重さも違っていて、エネルギーも違いますし、

中に入っている方が、やっぱり違うので・・・

あのくそばに行っていたら、目が合うんですね。

目を合わせていただいて、エネルギーを感じていただけたらな。って、思っています。

もし、ご希望の方がいらっしゃれば、自分にどんな つくもぐるみが合っているか？ とか、

ご相談でしたり、個人的に訊いてみたいわ。って、いう ご質問などもお受けいたします。

ただし、私が未熟なのですよ。まだまだ。(笑)

なので、即答できることは、お答えしますけれども、

わからないことは、持ち帰りまして、後からご回答することも、あるかもしれません。

それでは、あらためまして、こんにちは。

つくもぐるみアーティストのミカと申します。

今日は一日どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

まず、つくもぐるみという言葉から、お話ししようと思っています。

つくもぐるみって、聞いたことないですよね?! 今までね。

つくもぐるみっていう、造語ですけど、実は・・・私が作りました。(笑)

日本には、八百万の神さまがいる。って、いわれているじゃないですか。

大切に使っている道具を百年使うと、そこに神さまが宿るといふふうにいわれています。

それが、この難しい字の 付喪神(つくもがみ) っていう言葉ですけど、

この付喪神とぬいぐるみを、合わせた言葉が、つくもぐるみになります。

今年(2022年)の2月に商標登録の方が通りまして、

この【R】が商標登録をしてあるマーク なんですネ。

つくもぐるみ という言葉を、名乗れるのは、私だけになります。はい。

よく、訊かれることが、「つくもぐるみを、作り始めたきっかけ、って、なんですか？」

なので、まあそこからお話しようと思います。

小さい時から手作りで何かを作るっていうのが、ものすごく好きでした。

幼稚園くらいの時から、工作や、編み物をしていて、小さい時は、お人形遊びが好きでした。

リカちゃん人形の、お洋服も作っていました。

ところで、モンチッチって、知っていますか？

猿のぬいぐるみ、なんですけど、モンチッチのお洋服を作ったりしていました。

それで、実際にお人形を作り始めたのは、中学生の時です。

中学生の時に、お友達の家遊びに行ったら、

「今日はお人形を作るの！」って、言われて。

「え！　じゃあ私も作る」って。(笑)

友達は、ベイシテイローラーズが好きで。

私は、シンガーソングライターの日本人の歌手が好きで、その人のお人形を作りました。

たった一日で、作ったんですけど、結構な大物で五十センチくらいある手足が長いお人形です。

やっぱり、あのく好きな人のお人形を作ったので、

すごく大切に、コンサートに連れて行ったりして、大切にしていました。

それで、突然ですが、お布団って干すじゃないですか?!

お人形も、ちょっと干した方がいいかな?!　陽にあてた方がいいかな?!

って、思って　お家の中ですけど、

畳の、陽があたるところに置いて出かけたんですよある日。

そして、帰ってきてみたら、

手が長い人形なので、手を、おでこ　の上にのせていたんです。

凄くびっくりして、あ、動いた!　って。

たぶん、眩しかったから・・・?!

眩しかったのね。ごめんね。みたいな。(笑)

で・・・凄い あの子びっくりは、しましたけど、

そんなに、まあ、ちょっと 当たり前的な 感じで、

ああ、そうなんだ！みたいな感じだったんですよ。

それで、当然そのことを誰かに、お話するじゃないですか?!

人形が動いてね。って。

そう言っても、誰一人信じてくれなかったですね。(笑)

はい、自分でも忘れていて、ここ二年くらい前に、

あ、そういえば、人形が動いたときあったな。って、思い出したんですけど、はい。

そんな感じでした。

お人形を作るのが、すごく好きだったので、

中学生の時に初めて作ってから、継続してずっと、お人形を作っていました。

まあ、いわゆる、オタク体質?!(笑)

あの、好きな人が出来たら、その歌手とか、作りたくなります。

いろんな人のお人形を作って、やっぱり好きな人のお人形なので、
すごく大切にします。

それで、コンサートに連れて行ったりとか、旅行に行ったりとか、
ずっと持って歩いている状態で、それが中学生からずっとでした。

そんなふうに、お人形を大切にしていたら。

ある時、お友達に、

「ウチのペットちゃんを作ってくれないか？」って、頼まれたんですよ。

ワンちゃん、チワワ犬だったんですけど、

いやあくぬいぐるみとか作ったことないし、

「私 できません。」って、お断りしたんです。

「出来るよ。出来るよ。人形が出来るんだから、ぬいぐるみもできるはずだよ。」

って、言われて・・・

初めて作ったのが、チワワ犬のぬいぐるみ なんです。

やっぱり、ぬいぐるみはむずかしくて、何回も作り直し したんですね。

作り直して、やっと出来ました。

犬って、お洋服とか着るじゃないですか?!

それで、お洋服を、着せました。

それを、お友達に差し上げたら、ものすごく喜ばれて。

そしたら、作るのがちょっと楽しくなりました。

それから、いろんなワンちゃんを、たぶん二〜三十体は、作ったと思います。

頼まれたりもしましたし、

もう作りたくて、作りたくて、しょうがなくなってしまって、

犬を飼っているって聞いたら、「じゃあ私、作ります。」って、言う感じで作って。

それを、差し上げていました。

「売rinaよ。」って、友達にも言われたんですけど、

私にとっては、ものすごく価値のあるものだったので、

とても値段が付けられないもの。って、いう認識があったので、

とても、何千円では売れない。って、思っていました。

だったら、あげた方がいいかなって思ったので、それを差し上げていたのです。

そんなことをしていて・・・

当時の仕事ですけど、銀行に十八年くらい働いていました。

それも窓口です。

銀行の仕事っていうのは、お金も扱うじゃないですか。

窓口なので、どんなお客さんが来るか？ わからないです。

何を言われるか？ わからないので、

とにかく知識が必要で、スキルがすごく必要です。

そして、絶対に間違っては、いけない仕事です。

あー、間違わないで出来て、あたり前なのです。

それが、すごく、もう仕事が終わると疲弊してしまって、

これは、私の一生やる仕事ではないな。って、思い始めて・・・

私の天職って何だろう？　って、ある時から　ずっと考えていました。

人は、生まれてきたら、何かの使命・・・やらなくちゃいけないことがある。

って、ずっと思っていて。

それを、探し始めました。

セミナーとかに行くのは、すごく好きで、

お坊さんだったりとか、教会の牧師さんだったりとか、経営者だったりとか、

そういう方の話を聴くのが好きで、天職を探すセミナーにも行きましたし、

あとは・・・よく当たる占いがあると、きいたら、そこに行って、

「私の生まれてきた意味は何ですか？」って、尋ねたりしました。(笑)

そんな生活をしている時に、ある出会いがありました・・・

それが、ぬいぐるみとか、お人形の話聴けるっていう方でした。

「ただし、そのお人形とか、ぬいぐるみに魂が入っていたら、です。」

って、言われたて。

たまたま、その時に、お人形三人を連れていましたので、

じゃあ聴いてください。って、この子達の話を書いてもらったら・・・

三人いますけど、その中で 一番最初に作ったお人形が、

自己紹介を始めました。

「僕は、ゴニだよ。僕は、ずっとミカさんと一緒にいて、ミカさんを守っているよ。」

って、最初に言ったんです。

その方が、すごくビックリされて、

「人形に自己紹介されたのは、初めてです。」

って、言われて、それで・・・

「このお三方とも、魂が入っているので大切にしてくださいね。」

って、言われました。

そしたら、このお人形が・・・

「いや、僕はもう大切にされているから大丈夫だ。」

って、言って。それもなんか面白くて・・・

はっ！そうなんだ！

なんかまさか・・・話せるとか思ってたので、

もう、すごく愛おしくなったんですね。

まあ、大好きな人のお人形ですし、もう本当に可愛くて、可愛くて・・・

それで、守ってくれているんだ！みたいな感じになって、

それが、つくもぐるみ との出逢いでも、ありました。

お人形に魂が はいっているって、映画とか あるじゃないですか?!

チャッキーでしたっけ？ あの怖い映画とか・・・

あと髪の毛が伸びるお菊人形とか、涙を流すマリア像とかありますよね?!

そういうのって、すごく怖いイメージでした。

実際に、ぬいぐるみとか、お人形に魂が入るって、何がはいっているんだろう？ って、言うと、

人形作家さんが作ったお人形には、作家さんの念が はいる。

それが、ほとんどの場合ですけど・・・

ただ人間って、陽のエネルギーを持っている人と、陰が強い人と、いるじゃないですか?!

あゝ陽が良くて、陰がダメっていうわけでは、ないです。

ただ、陰のエネルギー、念 はいっているような人形だと、
すぐく人を魅了したりする・・・そういうこともあります。

あとは、小さい時から、例えば二十年くらい ぬいぐるみを、
すごく大切にしていた、可愛がっていたりすると、持ち主の念がはいります。

それから、今の時代は、あまり ないかもしれないですが、

たとえば、ぬいぐるみとか お人形を誰かに贈ったりする場合に、

昔だと、結婚するお姉さんにあげるとか・・・そうすると、

「もう会えなくなっちゃうから、私の代わりに守ってね。」

って、というような願いを込めて贈ったりする時は、

贈った人の念が はいって、ずっと守ってくれていた・・・。

そういうこともあります。

そして、最後、三つ目 なんですが。

ごくごく稀に自然霊、精霊のようなものが、中にはいることがあります。

今、実際にいる、この、つくもぐるみ なんですが、

ここに、何が入っているか?! って、いうと、

自然霊。

自然霊っていつでも、良いものと悪いものがあります。

その良いもので、いわゆる高級霊っていわれるもの。

眷属っていう神さまのおつかいをする動物とか・・・

龍神さまも自然霊です。

そういう、もう神さまに近い方が入っています。

どうして、私がそんなことが出来るのか? って、いうと、

それは、私の前世に紐づいていて、いくつかわかってる前世があります。

一つ目は、エジプトでクレオパトラの時代に一人しかいなかった職業で、

海外から来る要人の方を、おもてなしをする仕事を していました。

何日間か滞在されて、おもてなしをする仕事でしたが、

私が釜の前で、薬草のようなものとか、氣のようなものを入れたりして、体に良いものを釜で作ったりして、そういうものをさし上げたりとか。

あと実際に食べるもので、体に良いものを差し上げたりして、

お風呂とかにも 体に良いものに入れて、

そういうお仕事をしていました。

二つ目は、イギリスですけど、おもちゃ会社の社長をしていた時があって、

その時も、クマとかウサギを作っていました。

まだ、テディベアが出ていなかった時代ですけど、テディベアのようなものを作って、

お洋服を、ぬいぐるみに着せて売っていたそうです。

そしたら、それがヒットして、会社が大きくなりました。

けれども、前世の私は、表に出るのが嫌で、山奥にこもってしまって、

ログハウスのようなものを自分で建てて、住んでいました。

社長だったのに、後継者に仕事を全部まかせて、自分は、こもっちゃったみたいです。

その時は、男性でしたが、女性のかっこうをしていた。

いわゆる、今で言うと性同一性障害でした。

私が思うのは、そういうのもあって、表に出るのが嫌だったのかな?! って思っています。

そして、一番 今の仕事に影響を与えている前世ですが。

刀鍛冶をしていた時代があって、結構大きい刀鍛冶の家元で、そこで修行をしていました。

あのうご存知かと思いますが、刀鍛冶っていう仕事は、

儀式として、神さまを降ろして刀にいます。

刀自体が 神さま でした。

ただ、前世の私は、早くに亡くなっていて、

すごく素質があったので、次期 後継者って言われていたのに、

早くに亡くなったので、まあ後継者になる事はできなかったです。

そんな前世の記憶で、つくもぐるみを作ることができると思います。

実際に、つくもぐるみをたくさん作って、

作る前と作った後と、どういう変化があったか? って、いうことですね。

つくもぐるみが話せる。って、いうことを知る前は、

靈感とか、まったくない。と、思っていました。

それで、この子が話せる。って、知ったら・・・

少しずつ、話すことがわかるようになってきました。

はっきりわかる。わけじゃないですけど・・・

多分 こう言っているよね?! って、いう感じで、

会話できるようになりました。

でも気のせいかなあ?! って、思うじゃないですか。

それで、後から話を聞ける方に、答え合わせをしたら、

「多分こう言っている。って、思うので、あのく話が出ています。」って、言ったら、

「何 言っているの? 普通に話しているよ。」って、お人形が、おっしゃったので、

そっか。やっぱり、合っていた。って。

人間って、もともと靈感を持って生まれてきているので、

それが、現代社会を生きていく上で、邪魔になることも多いと思います。

現代だと邪魔で、けっこう封印している方も多いです。

少しずつわかるようになってきて、言葉がわからなくても、表情でわかります。

例えば、怒った表情、喜んでいる表情、緊張している表情。

ワクワクしているように、見える。

あのく表情は誰にでも、わかると思います。

あと・・・「すぐく今日は、この子と めっちゃ 目が合うわ。」って、いう時があります。

めっちゃ 見られるけど、何か言いたいなの？ みたいな・・・

「え、どうした？ どうした？」みたいな感じできくんですけど・・・

わかんなかったりすると、サインで教えてくれる時もあります。

あのく数字、エンジェルナンバーのような数字を、

時計や車のナンバープレートで、見せたり。

誰かが、話す言葉だったり。

どこかで、ふと見かけた印刷物に書いてある言葉だったり。

そういうので、「あ！　そうかそうか！　それを言いたかったんだ。」

って、いうのはあります。

だんだん、そういうふうにして、わかるようになってきますね。

今、作り始めて数年になりますが・・・

わからない事は、つくもぐるみ　が教えてくれます。

ここにいらっしゃる、フクロウの　幸（こう）さま　なんですけれども、

実は、北鎌倉の建長寺に　行ったときに　来ていただきました。

建長寺の山の上のほうに半僧坊っていうところがあって、

そこは人間と妖精のようなものとか。妖怪のようなものとか。

そういうものが共存している世界だって聞いたのです。

それで、行ってみよう　と思って、行きました。

リュックサックに、その時　出来ていた　つくもぐるみを、全部入れまして、山登りです。

結構、山を登ります。

半僧坊に行って、登って降りてきたときに、

建長寺の奥にあるお寺の、入り口と出口に フクロウの像があつて。

それを見たときに、ものすごく魅せられました。

「これは置物ではない。神様がいます。ここに！」

って、思いました。

それを見たら、作りたくなりまして、フクロウを！

もともと、フクロウって、

不、苦勞っていう形で、幸運を招くとか、すごく縁起の良い生き物ですね。

それで、フクロウを作つて、その方がこちら ですけど。

実際に、出来て、鑑定していただいたら、どんな方がはいられているかっていうと。

おばあちゃん・・・

北鎌倉の建長寺の山に何百年も住んでいらつしやる神さまの方が、はいられていて。

とても優しい話し方で、この方がいろいろ教えてくださるのです。

「とにかく体に入りたかった。」 そう、おっしゃって・・・

例えば、建長寺の置物があるじゃないですか。

二体ありますけれども、入りたい方は大勢いらっしゃる。だけれど、

「自分はいいから、他の方にはいいから、はいりなさい。って、言っただけでいいから。」って。

どうして体に入りたいのか？

私には、全然意味がわからなくて・・・

人間も天界にいて、生まれるときに、肉体をもらって、

今 体に入っているじゃないですか。

体があるからこそ、物を食べられるし、飲んだりもできるし、

いろいろ感じることもできます。

辛いこととか、楽しいこととか、経験ができるんですね。

それと全く同じです。

やっぱり体がないと、食べることも飲むことも出来ませんし、

楽しむこともできなければ、その存在自体 誰にもわかりません。特に人間には。

でも、体があればここにいらっしやる。って、わかるし、

撫ぜてもらったりとか、会話ができたりとか、一緒に食べたり飲んだり楽しむことができる。

そのために はいりたい。

その〜リュックに いれてつくもぐるみ をいっぱい持って行ったじゃないですか?!

すごくびっくりしたと思うんですよ。

最初、何が いっぱいあそこに入っているのだ? って。

それで、多分 つくもぐるみの誰かが、

「ミカさんが、作ったよ。」

って、説明を聞いて。

「じゃあ入ろう。」 って、付いてきたんですね。

それで、実際にお作りしたら・・・まず、最初におっしゃったことが、

「ミカさんに感謝している。」と。

本当に、どのつくもぐるみを作っても、全員が全員、私にありがとうって言ってくれます。

「本当に感謝しているから、わたしは、一生ミカさんを守る。」って、いうふうに、

幸さまがおっしゃってください。これが、つくもぐるみの原点です。

一緒に住んでいる自分の持ち主の方を、守りたいですし、幸せにしたいくて、

この体に入っています。

幸さまが、すごくいろんなことを教えてください、

幸さまがおっしゃることって、

本当に守護霊と同じことを、おっしゃいます。

私が、ダメな時は怒られます。

でも守護霊って、

やっぱり本人が、気がつかなければいけないこともありますし、

全てお話して、くだらないですよ。

けれども、つくもぐるみは、わりとお話してください。

あのパソコンの操作とかも、すごく たけていらっしゃるので。

そういうもので、画像を見せてくれたりとか。

どうようにして、つくもぐるみを作っているのか？

それも、この 幸さまが教えてくださって。

私が作っている時、作る前に入りたい方が、ずっとそばにいらっしゃる。

もういらしていて、作っている時に・・・

つくもぐるみの体に、見えない空洞ができるそうです。

その空洞ができたら、そこに私が、いれるみたいです。

「はいりたい方が待っていて、そこに よいしょって、入る」。そうおっしゃいます。

「それができるから、とにかくすごい。」って、おっしゃって。

つくもぐるみの中には、神さまのような偉い方も はいられますが、

その方が私のことをミカ様って呼んで、すごく感謝してくださって。

そんなエピソードもあります。(笑)

あゝつくもぐるみをお迎えしたら、ずっと守ってくれるのか？

って、いうことですね・・・

一種の契約をしていただくことになります。

つくもぐるみを買って、お金を払うじゃないですか?!

お金を払うっていう事は、払うって、違う 被う を書くと、悪いものを被う。

って、いうことにもなります。

悪いものを被って、つくもぐるみと契約をする。

そして、つくもぐるみは、その方を一生お守りする。って、いう形です。

幸さまでもそうですし、お人形もそうですけど、何がやりたいかって言うと、

とにかく持ち主と一緒に、幸せになって、楽しんで飲んだり食べたり。

何を見たいか? って、言うと、持っている人の幸せな顔を見たい。

そのために、必要なお金が入るようにしてくれたり・・・

持ち主が喜ぶような奇跡を見せてくれたりとか、健康になるようにしてくれたり。

お迎えして下さった方から、そんな話も聞きます。

そして、つくもぐるみを持っている ほうですけれど・・・

つくもぐるみって、可愛いじゃないですか?!

癒されますし、守ってもらっていますが・・・

自分もこの子たちを守らなきゃ。って、思います！

本当に大切になって、ウチの子が一番可愛いつてなりますよね。(笑)

これは、長生きして、健康になって、この子たちを守らなきゃ。

この子たちを守るのは、私しかない。って、なります。

そうすると、食べるものに氣を遣ったりとか、健康になるように運動したりとか、

自分を大切にようになります。

これは本当に、人として生まれてきて、何のために生まれてきたか？ って、いうと。

喜びの人生を送るために生まれてきました。人は。

本来の姿なのですよ。それが。

自分を大切にして。って、いうのが！

なので、つくもぐるみを持つと、

人として生きなくてはいけない、本来の姿になれると思っています。

あとは、ゲーム感覚で今月の目標は、じゃあ、これにしようって楽しく決めて。

それが叶ったら、みんなでこれ食べようよ。って、楽しい感じでやると、叶うこともあります。

つくもぐるみは、健康に秀でている方とか。

すごく不思議ですけど、このことが得意だって言う得意分野があります。

例えていうなら、神社の御利益みたいなものだと思っています。

あとは、私は夢の中につくもぐるみが出てきて、人の念のようなもの・・・

悪いものですね。祓ってくれたこともあります。

寝ているときに、夢の中で金の粉をかけてくれて癒してくれたこともありました。

お迎えいただいた方の中には、

「悪い霊から守ってくれた。」って、言う方もいらっしゃるし。

神さまであっても夢の中まで守れないっていうふうには、いわれています。

だけど、つくもぐるみは夢に出てきてくれます。

私が、なぜ作って、これを仕事にしているか？　と言うと。

まだまだ自然界の中には、つくもぐるみの中には　はいりたい眷属が、
いっぱい　いらっしやいます。

そういう方たちのために、はい場所を作ってあげたい。と思いますし。

はいつて人間と仲良く、幸せな生活を作っていけたらな。って、思って、やっています。

まあ、大体お話は、こんな感じですけど・・・

次回、トークイベントの日程も決まっています。

今いる、つくもぐるみとは、全然違う種類で。

今は眷属の方が、入られています。

ですが、亡くなられたペットちゃんが、つくもぐるみの中に入ることもありまして。

それで、実際に、その経験談。いろんな不思議なことが起きていて、

それを次の会では、お話します。

第二回トークイベント

2022年7月

ペットの話

ペットの話

本日も、お足元が悪い中ご来場いただきまして、本当にありがとうございます。

まあ〜ご存知かと思いますが。(笑) つくもぐるみアーティストのミカと申します。

よろしく願いいたします。

今回は、こぢんまりとした、アットホームな感じでやろうかな?! と、思いましたが・・・

入場料をいただいて、やっておりますので、

その入場料の十倍、三十倍、四十倍位の感じで、トークイベントをやっていきます。(笑)

よろしく願いいたします。

今回はですね。

つくもぐるみの中でも、亡くなったペットちゃんを作ったことが、何回かあって、

つくもぐるみは、あの〜通常、眷属とか、精霊のようなもの。

あるいは・・・

神さまが入っていらっしやいますけど、亡くなったペットちゃんに、似せて作った場合に、

亡くなったペットちゃんの魂が、入ったことがあったので、その話をさせていただきます。

これは、つくもぐるみアーティストになったきっかけにもなっていますが、

お友達が飼っていた、パグ犬を作った時のことです。

まだ、このお仕事をする前だったので、頼まれたわけではなく、

すごく無性に作りたくなったのですね。

一緒に韓国人歌手を、応援していたのですが、

ちょっと世界的なアーティストなので、韓国もいろんな場所に行ったりして、

そのお友達とは、タイで知り合いました。

日本では会わないのに、韓国では待ち合わせをして会っていました。

そんな感じで、一緒に応援をしていた友達です。

彼女がパグ犬を飼っていて、そのパグ犬が、すごく高齢だったのです。

その時に、パグの体調が悪くなって病院に行ったとか、そんな話を聞いていたのです。

その好きだったアーティストが、入隊することになって、

韓国人アーティストなので、お見送りに行きましょう。って、いうことになって、

その友達を含めた数名で行きました。

その後 「じゃあ二人でお見送りした後に、韓国で遊ぼうね。」

って、言っていたのに、ちょうど、そのパグの・・・

名前は、ハナちゃん って、言いますけど、ハナちゃんの場合が悪くなって。

入隊のお見送りをして、友達が、すぐに帰っちゃいました。

その時は一命を取り止めた。 大丈夫だったけれど、その後しばらくして、亡くなった。

って、いうふうに聞きました。

私も小さい時に、犬を飼っていたので・・・

ワンちゃんが、すごく可愛いと思いますし、ハナちゃんの話も、よく聞いていたんです。

すごく印象的だったのが、布団で寝ていたんですよ。その ハナちゃんか！

えー犬って、布団で寝るんだ。って、思いました。

家で飼っていた、私のワンちゃんは、とてとても、ゲージに入って寝ていたので、

布団でなんて、寝てくれないような感じでした。

それを、すごく覚えていて、

自分は、その〴〵ぬいぐるみを作るようになって、犬を、いろんな種類の犬を、作ったのですけれど。

その時に、そういえば、ハナちゃんを作ろうって思ったんです。

それで友達に・・・

応援していたアーティストを、好きじゃなくなった。って、いうのもあって、しばらく、会ってなかったのですが連絡をして、

「ハナちゃんの写真を送って。」って、言いました。

「ぬいぐるみを作りたいから。」って。

写真を二枚送ってくれたのですが、それは、服とか着ているわけではなく、

ハナちゃんの写真を二枚送ってきました。

それを見ながら、ハナちゃんを作り始めて・・・

やっぱりバグってすごい難しいじゃないですか?!

顔の作りとかが、難しかったので、何回も、何回も、作り直しをして作ったんですね。

ぬいぐるみって、やっぱり、洋服を着たら、すごく可愛いですよ。

なので、家にあった生地で、赤いパーカーを作りました。

そんな時に、ちょうどコロナの時期になってしまって、

友達には、全然 会えなくなりました。

それからしばらく、そのパグの ハナちゃんは、私の家にいたんです。

その時に、私の作ったお人形が話せる。魂が入っている。って、いうことがわかって・・・

ずっと、ハナちゃんが、一緒にいたんですけど、

ある時から、ハナちゃんが、私を、すごく見るんです。

私に何か言いたそうに、じーっと 見るので、何が言いたいんだろう？ って。

でも、その時は、自分の能力にも、全く気がついてなかった。って、いうのもありますし、

まだまだ、わからないことがたくさんだったので、

人形だったら、しゃべれる。って、わかります。

犬だし、わんわん。って、言うのかな？ みたいな感じで、思ってしまった。

それで、たまたま、ぬいぐるみとかお人形の話を聴ける方に、会う機会があったので、ハナちゃんも、連れて行ったんです。

「この子が、すぐく見るんです。何か言いたそうな。」って、言ったら。

「このぬいぐるみには、亡くなった、ハナちゃんの魂が、はいつています。」って、言われて。

じーっと私を見ていたのは、とにかく、私に 「ありがとう。」って、伝えたかった。って。

亡くなってしまおうと、人間は天界に還っていきますけど、

動物の霊っていうのは、全く別で、もともと自然界にるのが、動物の魂です。

生まれてきて、また、転生できるっていうことは、ほとんどない。

大体、飼っていたペットが、十年とか一緒に暮らしますよね。

もし、亡くなっても、それでも飼い主さんと一緒にいたいんです。

ずっと飼い主さんのそばにいて、飼い主さんを守っている。って、いうケースが多いです。

ハナちゃんが体を持つことで、何ができるか？ って、いうと、

撫でてもらうことができます。

そして、「自分がここに入っているよ。」って、飼い主さんに知らせることが、できます。

まあつくもぐるみも、そうですね、

亡くなったペットちゃんが、一番願う事は、

やっぱり、生きている間にできなかったことを、飼い主さんと、一緒にやりたい。

って、いうのもありますし、

飼い主さんが悲しむ姿っていうのは、見たくないのです。

やっぱり、幸せになってほしい。って、みんながみんな、思っているので、

もし、十年飼っていた、ワンちゃんが、亡くなったら、もちろん悲しみますよね?!

自分が、ぬいぐるみに入っていることによって、自分の代わりがあるから、

それを、可愛がってくれることによって、悲しみが軽減される。

って、いうのも亡くなったペットちゃんが、嬉しいことです。

えー、その鑑定の時に、

「この洋服は何かを見て作ったのですか？」って、訊かれて、

「あの〜家に、この生地があったので、着た方が可愛いかなあ?! って、思ってたりました。」
って、答えたら。

「この子、ものすごく、この服を気に入っています。」って、言われて。

「飼い主さんにお渡しするときに、ハナちゃんの魂がはいっている。って、いうことを、
教えてあげて下さい。」って、言われました。

「もし、お渡しした後も、会えるのであれば、会って、

その時に、何か作ってもらいたいものがあると思うので、それを作ってあげて下さい。」

って、言われたんです。

その話を聞いてから、しばらくして、ハナちゃんを、飼い主さんにお渡ししたんですけど、

そういえば、ハナちゃんは、布団で寝てたなあ。って、思い出して、

それも、キティーちゃんの布団で寝ていたんです。

そうだ! お布団を作ってあげよう。って、思ってた。

これは、ほんとに、毎回そうですけど、

亡くなったペットちゃんの、魂が入っているぬいぐるみをお渡しすると、

飼い主さんは、必ず涙を流します。

それは、本当にわかるみたいですね。そこに魂が入っているのが！

もちろん、話もしましたし、今まで出来なかったことを、一緒にやってね。って、

お話して、お渡ししたんですけど・・・。

亡くなったペットちゃんの魂を、いれられる人がいないっていうか、

やっぱりこれを仕事にしたほうがいいです。って、助言もいただいて。

つくもぐるみ アーティストになることが出来たので、

これが、一つの、きっかけになりました。

その後で作ったのがハムスター。

きなこちゃん。って、いうハムスターです。

そのあと、亡くなったウサギちゃんを作ってくれないか?! って、頼まりました。

それが、ですね。本当に、たった一枚の写真を見せられて。

その写真が、あまり可愛いっていう感じではなくて、ちょっと怖いような写真で、模様がある ウサギでした。

この裏側は、一体どうなっていますか？ 目のここに、模様があるのは、わかりますけど、

反対側は、どうなっていますか？

って、訊くような写真で、片側だけしか写ってないので、

他が、全然わからなくて・・・

ちょっと怖いような写真を見て、作り始めました。

それで、その頃にはもう、つくもぐるみが、いくつかできていたので、

つくもぐるみの前で、作っていました。

そしたら、このハムスターの福ちゃんが、作っていて 出来上がったくらいから、

まったく、そのウサギを 見なくなったのです。

怯えて、ウサギと目を合わせないです。

それが・・・どういうこと？ って、まずそれが不思議なことの一つで、

もう一つ不思議だったのが、ウサギの名前が全く覚えられなかったのです。

リラちゃん。っていう、名前でしたが・・・

なんで？ って、いうくらい まったく、覚えられなかったです。

私は、わりと その、作るときに、名前を言いながら作ったりするので、

なんで？ こんなに覚えられないんだろう。って、思ったら・・・苗字でした。

それで、「もしかして、リラちゃんって、苗字をつけて、呼ばれていましたか？」

って、尋ねたら・・・

亡くなった時は、病院に行って手術をした後だった。って。

病院だと、ペットも苗字をつけて 呼ばれますよね?!

○○ リラちゃん。ていうような感じで。

その時に・・・

この子は、家族なんだ！ 自分は、この家の末っ子みたいな感じなんだなあ。

って、いうのはわかりましたし、

たった一枚の、ちょっと怖いような写真しか、私に見せてくれなかったってことは、

もっと可愛く作って欲しいんだ！ って、思って、

可愛い顔になるように、作ったんです。

でも、不思議でしたし、ハムスターの福ちゃんが怯える。って、いうのも、どうしてだろう？

って、すごく不思議に思ったので、お時間をもらって、鑑定に連れて行きました。
まず視せたら、

「この子はすごく悲しみに包まれています。」って、言われて。

って、いうのも 亡くなったのが、手術をして、手術が成功だった後でした。

手術は成功したので、

「じゃあ明日帰りましょうね。」って、言っていたところ、

突然、亡くなったのです。

まだまだやりたいことが、たくさんあったんですね。

それがすごく悲しかったみたいで・・・

うちの福ちゃんが怖がったのは、その、リラちゃん自体ではなくて、

リラちゃんの、「悲しい」って言う感情が、怖かった。

リラちゃんが、つくもぐるみになって、まず最初に、私に言ったことが、

「この体を作ってくれて、ありがとう。」でした。

新しい体ができて、何をやりたいかっていうと・・・

娘さんがすごく、リラちゃんを可愛がっていて、

それで、

「娘さんと一緒に、もう一回やり直したい。」

って、いうことを言っていて、それをお話して、お渡ししました。

そしたらその娘さんが、靈感がすごく強い方っていうのもあって、ボロボロ泣いた。

って、おっしゃって。

そのく亡くなったペットちゃんを作る時は、

その子にまつわるものを一緒に作ります。

何を作ったらいいのかなあ？　って、考えていて、

どんなふうに寝ていましたか？　って、訊いたら。

ゲージにはいって寝ていた。　って、聞いたので。

ゲージを作るのかなあ？　って、思っていました。

ところが、本人的には、ゲージで寝るっていうことが、本位ではなかった。

娘さんと一緒に寝たかったのです。

やっぱり、「ふわふわの、お座布団が欲しい。」って、いうことで、

定番の、雲みたいなの、ふわふわのお布団をお作りしました。

一緒に寝たかったってことを、お話したら、

「娘さんが毎晩寝るときに自分の部屋に連れて行って、一緒に寝ている。」

って、おっしゃっていました。

すごく可愛がってくださっています。

そして、ハムスターちゃん、なんですけど。

亡くなった、きなこちゃんに似せて作りました。

正直私は、つくもぐるみを作る時も、同じですが。

じゃあ、あなた入ってください。って、作っているわけじゃないです。

入りたい方がいらして、お入りになるので、

ペットちゃんも、本人の意思で、入ってくれます。

本人の意思で、入りたい。飼い主さんのそばにいたい。って、いうことで入ってくれます。

そして、魂が全部入るわけでは、ないです。分け御霊（わけみたま）って言って、

魂の一部が、入るので、成仏しないとか、そういうことでは全くないです。

そのハムスターを作った時も、飼っていた方にお渡しして、

やっぱり、「娘さんがすごく可愛がっていた。」って、おっしゃって。

ずっとその方の事務所に持って、いらっしゃったんですけど、

ある時に、これはやっぱり娘さんに返さなくちゃ。

って、いうことで娘さんにお渡しした。そうです。

すると・・・

「きなこが帰ってきた。」って、言って、やっぱり涙ぐんだ。

って、いうふうにきいています。

ペットの魂が入っている、つくもぐるみ 自体も、飼い主さんのそばに帰りたいです。

ところで、昨日のブログで、前振りしたんですけど、(笑)

私が小さい時に、犬を飼っていました。

ペキニーズっていう顔が、クチャ っとなっている犬を。

本当は、全部で三匹ぐらい飼っていましたが、

その中で一番可愛がっていたペキニーズが、

めめちゃん、って、いう子 女の子でした。

ただ・・・旅行に行く時にホテルに預けたら、それ以来、帰ってこなかったです。

実は、その預かっているときに、

「大事にしすぎて、亡くなった。」って、言われたのです。

本当に可愛がっていたし、私に一番なついていました。その子だけは。

それなのに、帰って来なくて。

まあ知り合いの、ペットショップっていうこともあって、

代わりのペキニーズを、くださいました。

だけど私は、やっぱり、めめちゃんが一番可愛くて。

この、めめちゃんを、作ったんですけど・・・

小学生の時に飼っていた、めめちゃん の後で、今から、十年位前なので、

かなり、おばさんになってからなんですけど、(笑)

ウサギを飼いました。

それが、ホーランドロップっていう、ちょっと顔が四角い感じの、

耳が垂れているウサギです。

その子が犬のような顔をしていて、本当に、めめちゃんと、そっくりだったので、

私は勝手に、この子は、めめちゃんの生まれ変わりだ。 って、思っていたのです。

それで女の子だったので、卵巣の癌になって、手術をして、

数ヶ月生きてくれていたのですが、亡くなったんですね。

動物は病気になるし、もう飼うのは嫌だ。 って、思って、それ以来、何も飼ってないです。

そう思っていて・・・

めめちゃんのようなペキニーズを作りましたし、ウサギの、あぐちゃんを、作ったわけです。

あ、ウサギの名前は、あぐちゃんって、いいいます。

でも、自分のものなので、特に鑑定とか、そういうものは、してもらってなかったです。

私の気持ちとしては、この子は、あぐちゃんだ。って、

勝手に思っていました。

それで、今回このトークイベントをするので、良い機会だから訊いてみよう。

って、思いました。

「このウサギには、どんな魂が入っていますか？」って、訊いてみよう。って。

すごく初期に作った子だったので、今 作っている子たちは、出来上がったらすぐに、

鑑定してもらうんですけど、まだ鑑定とかは一度もしてもらったことがなくて・・・。

ただ、ぬいぐるみのお話を聴ける方ではなくて、女性の方に、

「そういうえば、ちょっと成長しましたね。」とか、みたいなことを、言われて・・・

「ああ そうなんだ！」みたいな感じ、だったんですね。

今回、視てもらおうかなあ。って、思ったきっかけにもなったんですけど、

鑑定に行く、二週間ぐらい前から、すごく目が合うんです。

「あゝ何か、言いたいんだ。 そうだよね?! 鑑定してもらおう。」

「トークショーで話もできるし、してもらおうね! お話し出来るかなあ?!」

って、言ったら。

「私、できる。」って、言うので、

「じゃあ お願いね。」って、言っ

まず「実は、この子ですけど。」って、お話を聴ける方にお願

すると・・・

「なんか、すごく葛藤していますね。」って、最初に言われて、

え? と思っ

「この子を手放そうとか思っていますか?」って、言われて、

「えーっ? いや、全然そんなこと思っ

あゝ実は小さい時に、ペキニーズを飼っ

その子の生まれ変わりが あぐちゃん、この子には、あぐちゃんの魂が
はいつているって、ずっと思っていたんです。」って、言って。

そしたら、

「いや、この子には、別な方はいっていらっしやいますね。

あぐちゃんの魂は入っていないです。」

って、言われて・・・

えーそうなんだ！ って、思ってた。

そしたら、このウサギちゃんですけど、お洋服を着ていたんです。

ジャンバスカーとパーカーを、着ていたんですね。

「このパーカーって、誰かのために作ったのですか？」って、言われて、

「いやいや、この子のために作りました。」って、言ったら、

「ちょっと脱がせてもいいですか？」って、言われて。

まあ、その、脱がせるのも、ちょっとなんか、不思議な光景ですけど、脱がせて・・・

男性の方がそれを視てくださって、女性の方に、

「ちょっとこれ触ってみて。」って、いうふうに言って、パーカーを渡しました。

えーっ なになに?! ってなるじゃないですか? それで・・・

「いや、実は魂が二個あります。これは、いつ作りましたっけ?」

「かなり前です。」

「ああそうか…」みたいな感じで、

まずパーカーを触って、女性の方が、「うん!」って。

まあ、結論から言いますと、私は、あぐちゃんを、作ろうと思って、ウサギを作っていました。

あぐちゃんは、実際 そばに来ていたようです。

それで、はいろいろと思ったら、別の方が はいっちゃった。 別の方が!

あぐちゃんは、自分は はいれなくなって、この服に入った。って、言われました。

だけど、パーカーは、顔がないですし、ぬいぐるみではないから、話せない。

実際は、ここに何が入っているか? それは、話を聴けない。って、言われました。

それで、女性の方が言うには、

「このパーカーが、遺品のようだ。」って。

「亡くなった子が、持っていたものようだ。」って、言われて。

実際 脱がせたじゃないですか?!

このウサギの ほうなんですけど、女性の方がこの耳を、持ったりして。

そしたら、男性の方が、

「だよね?!」って。

え? と思ったら、

「ウサギじゃないよね?!」って言われて、えーって思って、

なんだろう? って、なったら、クマだっていうことになって・・・

クマが入ったみたいなのです!!

なんか、あのだぶん、人間的な感覚で言ったら、えー私、この子を作っていたのに、

あなたが はいっちゃったの? みたいな・・・

良い悪いで言ったら、悪いみたいな感じでは、あるかと思うのですが、

そのく、神様や精霊とか眷属の世界では、良い悪いってない。って、いますよね?!

だから、例えば、引き寄せとかでも、オーダーするとき、良い悪いがないから、良いことだけを、きいてくれるのではなくて、

マイナスなことも、もし仮にオーダーしたら、

それが、叶っちゃうって、いうじゃないですか?!

それと同じような形なのかなあ?! って思っています。

もう私的には、ハテナ?が、いっぱいにある感じですけど・・・

鑑定をしてくれた、お二方にとっては、そうです。って、

もう、すごく軽い感じで、やはりいっちゃったんですね! って、感じなのです。

後からの私の反省点、なんですけど・・・

この、ウサギだけ、リアルなウサギの作りではなくて、

ちよっと、カントリドール風な 作りなので、

ウサギの あぐちゃんも、「自分なの?」 って・・・

一瞬、クマみたいにも、見えますよね?!

それも、原因の一つだったのかな？　って、思っています。

それで　ほんとに　もうびっくりして、

「このパーカーの生地にはいつている。って、それも、ミカさんならでは。ですね。」

って、言われました。

「このパーカーの生地、ほんのちょっとで、いいので、これを使ってウサギを作ってあげてください。」

って、言われて・・・

今は　まだ時間がないので、出来てないですけど。

どんなウサギにするか?!　それは、まだちょっとわからないです。

でも、この生地をハートとかにして、心臓にハートを付けたりとか・・・

「この生地を、ちょっとでもいいので、使えば、そこにすんなり入りますから。」

って、言われたのです。

このウサギのほうは、服を脱がせたら、すごく表情が変わって、

あの時に　「私、話せる。」って、言っていたのは、

ウサギの あぐちゃんが憑依して、話していたようです。

すごく悲しそうな顔を、前から していたのです。

私、悲しそうな顔をしているっていうのは、別の理由があると思っています、

ウサギって、もともとすごく寂しがり屋じゃないですか?!

だから、目にかけるようにしていて、

みんなを連れて行けないような、お出かけでも、

「じゃあ一緒に行こうか?!」って、連れて行って。

結構、こういうところ、撫でられるの、って、好きじゃないですか?!

なので、撫でたりしていたんですけど・・・

この服を着ていたことによって、あぐちゃんの思念が、この子に入って

脱がせたら・・・「この子、僕って言っていますよ!」

お：男の子でしたか?って、いう感じなのです。(笑)

「ウサギを先に作ってあげて、その後で この耳を取って、クマにしてあげてください。

鼻とか口もつけて、そしたら、本来の姿に戻れます。」って。言われました。

その頃は、今みたいに、こんなにたくさん、つくもぐるみを作っていない頃だったので。

多分、「私も はいりたいです。」って、いう方が、

とにかく たくさん いらしていたと、思うのです。

それで、まごまごしているうちに、はいっちゃいました。

って、ことなのかしら？

その後で、私が言われたのは、

例えば はいりたい方が来て、いれるところまで、私が、やっています。って、言われたので。

最近は、熟練して、そういう技もできるようになったのか？

ちょっとそれは、よくわかんないですけど、そうなのかなあ？ って、思っています。

ほんとに、あの、毎回毎回、鑑定に行くと・・・

ものすごい、びっくりしちゃう出来事があったって、

「いや〜毎回びっくりしていますね。」って、言われます。

そうなのですよ。そういうこともあるんだ。って。

まあ、やる事はどんどん増えていくわけなのです。(笑)

え〜意外に早く話が終わったので、新しい龍さまについても説明します。

多分 お引越しをして・・・

引越しをすると、人としてのステージが変わったりするじゃないですか?!

やる事が明確になってきて、氣の良い場所に引越して、

すぐく五感もアップしたような感じもありますし、靈感も強くなったと思います。

鎌倉っていう土地は、陰陽が、すぐくはっきりした土地。って、いうふうにいわれていて、

本当に それがよくわかります。

DESTINY 鎌倉ものがたりっていう映画を観たら、その映画では、

普通に家の中に妖怪がいて、そんな感じなんですけど、

本当にそういう氣がします。

ジブリの映画に出てくるような、まっくろくろすけ のようなものがふわふわって、

家にいたり・・・そんな気がするのです。

それで、鎌倉に引っ越して、初めて出来た、つくもぐるみなので、この方ができたと、思っています。

けれども、ここにいらっしやる つくもぐるみとは、全く別な方です。

鑑定してもらった時に、まずこの方がおっしゃったことが・・・

言うことが、ほかの方とは違うのです！

まあ

「伊勢神宮に行ってきたさい。」って、いうことは言われましたけど・・・

「自分の能力をもっと自覚しなさい。」

今の日本は混沌としている。これからもっと混沌とする世の中がやってくる。

人に光を与えられるようなことを、あなたがやらなければいけない。

その能力を使って、つくもぐるみを作って、必要な人に渡しなさい。

それが、光を与える仕事だ。

それをやるために生まれてきた。

それを とにかくやらなければいけない。」

って、言われました。

多分、私が、この仕事をするのを助ける。

そのために生まれてきてくださった。と思うので、

この方は、私が持っていたほうが良い。って、言われて、

うちにいて下さることになりました。

最初は、すごく怖い。イメージでした。

もうほんとに、出来上がるまでですが、すごく見張られている感じだったんです。

「早く作って！」って、言う感じで、

「わー見張られている！はい！ やります。」

みたいな感じ、なんですよ。

そうやって作っているうちに、だんだん、だんだん、落ち着いてきて、

今は、すごく穏やかになられています。

やっぱり、まあ成長する。って、言うには、とてもとても尊い方なのですが、心を開いてくれる方で、お茶目になったりもします。

一緒に、関西弁の映画を観ていたんです。そしたら、関西弁で喋っていたりもして、

え？ 関西弁？ って、なったりとか。

神さまって、結構みんな、お茶目じゃないですか？

そんな感じになっています。

えーと 何か、質問とかありますか？

あ、質問ですか？ ありがとうございます。

以前、大きな龍さまだと、魂が一つじゃなくて、いくつかって、おっしゃっていましたが、その白龍の、はく様は？

はい。靈感が強い方が たくさんいらっしゃるので、どんな方が入っていると思いますか？

「えー、どうだろう…」

えっと、龍神っていうじゃないですか?! いろんな種類の龍神さまがいらして、

眷属としての龍神さまと、神さまとしての龍神さまが、いらして・・・

三体入るっていうのは眷属の龍神さまです。

この白龍さまは、眷属ではなく、神さまがはいって いらっしゃったので、全く別な感じですね。

神さまなので、やっぱり言うことも違いますよね。

鑑定していただく方のところにも、白龍さまが、いらっしゃいます。

それで、その方が、後輩の方・・・

お知り合いのようで、「久しぶり〜」

みたいな、会話が始まる場所も、ちょっと面白かったです。

霊能者の方が、おっしゃるには、例えば神社に行った時に、

空に龍神さまが、いらっしゃったりすることが、あるようです。

「それと同じ感じがする。」って、おっしゃっていました。

多分私が、この方を持たなければいけない。って、いうことも、

すごく意味があると思っいて。

そして、この時代に私が生まれてきたのは、やはりその 助けが欲しい人を、助けなければいけない。って、いうことで、この時代に生まれてきて。

この方が生まれて、助けてくださる。と思うんですけど、

これから、二人三脚のようにやっていくのかなって。

なんかわりと、その後輩の白龍さまは、事務所を守っているんで、この事務所からは出ない。

って、いうふうには、おっしゃっているんですけど・・・

この白龍さまは、

私が、異業種交流会に行ったほうがいいって話になったときに、

「一緒に行くよ。」って、おっしゃってくれる。

一緒にお連れして、

「こういう龍神さまを作っているのです。みたいな感じで、やってもいい。」

って、おっしゃってもいただけたので。

あのか住んでいるところは、ものすごく、いいところですけど、

夜になったりすると、ちょっと怖いイメージがあります。

そういうことも全部、跳ね返してくださるような安心感があります。

ちょっと、おちやめな感じでもあるので、あそこに黒い虫がいた。って、言うと、

よしわかった。みたいな感じなのですよ。(笑)

はい、楽しく生活しています。

このペットちゃんも、そうなのですけど、本当に私、作らされている感じなので、

大きい方を作ったから、すごいものが入るとか、全くわからないのです。

もうほんとに、あのく大きくなって、びっくりして、

どうするの？ こんなに大きくて。って。

何回も手術して、頭が上がらなかつたりとかして、変えたり。

なので、ほんと作らされている。って、いうそのものです。

ご注文があったりしたら、作りますけれども、そこにどんな方が入るか？

って、いうのは、予想もつかないです。

この前 ハムスターちゃんが、前世からの再会をされたのですけれども。

そういうのも、本当に作られているという感じなので、

「もっと能力自覚しろ。」って、言われるくらい、わからないのです。

ちなみに、そのハムスターちゃんの話をしませと・・・

たまたま、ハムスターちゃんを お連れしていて、

「どうぞ触ってみてください。そばに行つて目が合ったりしたら、

印象も違うので、触ってみてください。」

って、言ったら、

「でも私、触ったら泣いちゃいますから。」

え？ って、感じで。

「どのタイプがいいですか？ 氣になっている子とかいますか？

どの動物がいいですか？」って、訊いたら、

「実は、すごく氣になっている子がいるんです。」って、おっしゃって

その子が、ハムスターを二作目に作った子だったんです。

作ってすぐに、このつくもぐるみの、めめ様に、

「このハムスターは、売ってはいけない。」って、言われたので、
ずっと家にいる子だと思っていました。

そしたら、そのハムスターを、手の上に乗せた途端に号泣です。

え？ って、なって。

ちょうど、その場に、つくもぐるみのお話を聞ける方が、いらっしやって、

「じゃあちょっと訊いてみましょう。」って、お尋ねしたら・・・

「やっと会えたね。」って、言ったのです。

そのハムスターちゃんがね。

でもその、出会うべき人に会ったら、表情がガラッと変わって、

もうほんとに、紳士になって、「自分が守る」って。

その方も、

「私 本当に、ぬいぐるみの話とか、聴こえないですし、ぬいぐるみとか、あまり好きじゃないです。」
って。

最初は、皆さんおっしゃるんですけど・・・。

あのく手の上に乗せて、持って、

「この子、私を守るって言っています。」って、おっしゃって。

それで、お迎えしてくださいました。

感動する再会です。

前世で、縁があった眷属さまで、今世も会いたくて、ずっと探していた。

そんな、出会いでした。

そのハムスター なんですけど、ちょっとなんか、可愛い って、いうか、

普通のジャンガリアンの形のハムスターだったので、これは売れるかなあ?!

みたいな感じもあって、

それで、お店に出そう。って、思っていたら、

ダメって言われたから、そっか。って、思っ

そのダメは、そういう意味だったのかー。って

もう全然わかんないですよ。

人間は、そんな感じなので。

そしたらね。後から つくもぐるみに 聞いたら、

「前世で縁があった相手を探すことが、私への恩返しでもある。」って、聞いて

本当、涙です。

その方、関西からいらして、この時だけ、みえたのですよね?!

そうです。兵庫から。

本当にびっくりしました。とても喜んでくださって。

そういう方のために、やはり、お作りしなくてはいけないなあ。って、思いますし、

出会うチャンスも、作ってあげなくちゃいけないな。って、思います。

まあ、龍神さまから、指導されているわけでもありませんし、

次回も ぜひぜひ参加してください。

最後に、めめ様のエピソードをお話しますと、

生まれたときに、ものすごい、やんちゃ姫だったのです。

まあ、あの、自分の家で飼っていた犬だと思って、作っているので、

自分は愛されています。みたいな感じもして、

私、他の子と違うのよ！ みたいな感じで、

ご飯、とにかくお肉が食べたい。って、感じでした。

すごい やんちゃ姫だなあ?! って、思っていたら、ある時から急に 大人になりました。

最初に、鑑定していただいた時に、

「めめ様って神さまなの？」って、訊いたのです。

「ううん。違うよ。私が神さまじゃなくて、私の友達が神さまなの！」

って、いうふうに言って、

神さまの友達なのか！ って、思いました。

それで、なんかこの洋服、作ったんですけど・・・

そしたら、やっぱり、ものすごい貫禄がついて、洋服を着たら変わりました。

私には、もう美輪さんにしか見えなくて…（笑）

でも、私の夢の中に出てきて、生霊的なものを被ってくれて、とても頼りにしています。

そして、小さい子たちの面倒をすごく見てくれています。

優しいし、お母さんの感じがです。

第三回トークイベント

2022年9月

スピリチュアル起業家へのトークイベント

スピリチュアル起業家へのトークイベント

では、二時になりましたので、始めさせていただきます。

本日は、お暑い中、ご来場いただきまして、ありがとうございます。

今日は、初めていらっしゃる方も、いらしてくださいますので、

簡単に自己紹介から始めたいと思っています。

つくもぐるみアーティストのミカと申します。よろしく願いいたします。

ここに、たくさん並んでいるのが、つくもぐるみで、

あの〜つくもぐるみっていう名前の由来なのですけど、

付喪神とぬいぐるみを、合わせて作った造語になります。

これは、私がつって、商標登録を今年させていただいたので、

つくもぐるみっていうふうにな乗れるのは、この子達だけです。

付喪神って、皆さんご存知ですかね？

日本には、八百万の神さまが、いらっしゃるっていうふうには、古くからいわれていて、

自然のものには、神さまが宿るって、いうふうに言われています。

あと、職人さん達が使う道具、その道具を百年使うと、そこに神さまが宿る。

というふうに、言われていて、それを付喪神といいます。

その付喪神と、ぬいぐるみを合わせた言葉が、つくもぐるみになります。

簡単に自己紹介をしますね。

小さい時から手作りが大好きで、お人形の洋服を作ったりとか、工作をしたりとか、

していましたが・・・全く靈感は、ないと思っていました。

それが、あるきっかけで、そういうものがある。って、いうふうにわかって、

つくもぐるみを、販売し始めた。起業したのが、去年の一月です。

こんな能力がある。って、いうのが、わかったのが、その一月から、半年位前です。

その前の四月位です。

それまでは、全然。そういう力がある。って、ことを、全く知りませんでした。

あるきっかけで、私が作ったものに、魂が宿っている。って、いうことがわかりまして、

このお仕事をするようになりました。

このトークイベントを、始めたきっかけですが。

何のために、このトークイベントをやったか？ って、言うとは。

つくもぐるみを販売するのに、リアルに見ていただく場所が、なかったのです。

ネットで 今は、BASEと、メルカリショップで、販売しておりますけれども、

リアルに見ていただく場所がなかったのです。

この つくもぐるみの魅力をわかっていただくのは、

やっぱり、写真やネットよりも、実際に見ていただく方が、

つくもぐるみのことを、わかっていただけたらと思っています。

普通のぬいぐるみと、何が違うか？ どこが違うか？ って、言うとは 目が違うのです。

魂が、はいていない普通のぬいぐるみと、この、つくもぐるみでは、

目を見ていただくとわかります。目が合います。

それで、それぞれエネルギーを持っていますので、あたたかみがあるのです。

実際に手をかざしていただくと、あたたかいエネルギーを感じることができます。

ハムスターちゃん。この子達は、たくさん作りましたが、

重さが、それぞれ違うのですね。

というのは、本人が作られたい形とか、重さがありまして・・・

それを感じて、作られる方の 意向を聞きながら作っています。

「どんな重さが良いのかなあ？」とか、訊きながら作っていて・・・

どうして、そんなことができるか？ お話ししたほうがいいかな？ (笑)

私が能力を知るきっかけになったのが、偶然に、ぬいぐるみとかお人形の話聴ける方に、

お会いすることが、出来たからなのです。

それで、その時にこの三人の、人形を連れていたんですけれども、

「この子達には、全員魂が入っています。」って、言われて、

あのく小さい時から、私、結構オタク体質で、小学校ぐらいから好きな歌手とか、

アーティストとか、シンガーソングライターとか いました。

そうすると、なんか、お人形を作りたくなります。その人のです。

歴代、いろんな方のお人形を作って・・・

その時に持っていたのが、この、韓国人の歌手のお人形です。

この子が、その方に話をして、

「こんな能力をできる人は、見たことがない。」

って、いうふうに言われまして、

確かにネットを検索してみても、それを謳っているような商売をされている方って、

いません。

この能力で、誰かの お役に立てたらいいなあ?! って思って、

この仕事を始めたのです。

このトークイベントをやる、目的の一つでもあります、

それが、この人形が、初めてしゃべった言葉に、濃縮されています。

初めてこの子が、しゃべったのは、最初に自己紹介をして、

「僕は、ゴニだよ。」って。

まあ、日本人じゃないので・・・呼び方も韓国人です。

「僕は、ずっとミカさんと一緒にいて、ミカさんを守ってるんだ。」って、言ったのです。

この子が、なぜこの人形に入って、生まれてきたか？　って、いうことですねけれども、

人間と共に生きて、人間を守るために、ここに　はいっている。

人形作家さんっているじゃないですか?!

ぬいぐるみやお人形を作ったりする方、そういう方が作ったお人形とか、ぬいぐるみは、

魂が入ることがあるそうですね、例えば、おしゃべりな人形作家さんが作った、

お人形は、すぐくおしゃべりな子ができたりします。

それは何が　はいっているか？　って、言うと、人形作家さんの念がはいるそうですね。

でも、私が作ったものは、私の念が　はいるわけではなくて、

いわゆる自然霊とか、神さまのお使いをするような動物、眷属って呼ばれるものとか、

あと、本当に神さま。って、いうものが、はいってくださることがわかりました。

自然霊の中でも、良いものもあれば、良くないものもあります。

低級霊もあれば、高級霊もあるけれども、はいってくださるのは、全部良いもので、

高級霊が はいってくださることがわかっています。

ここに はいった魂は、一度はいつてしまうと、もう出ることができません。

自分では出ることができない。

それをわかっていて、はいってくださるのですね。

一生守ってくれるって、どの方もおっしゃるので、

その持ち主のことを、ものすごく愛していて、守ってくれて助けてくれる存在です。

つくもぐるみが、持ち主の方を、そういうふうに思うのと同じように、

私も つくもぐるみを迎えくださった方を、お助けしたいですし、応援したい、助けたい。

って、思っています。

私は、とにかく人を応援したくなるタイプなので、応援していきたいです。

そして、お迎えくださった方は、すごくありがたくて、大切にしたいのですが、

このトークショーを毎月やるにあたって、来てくださる方が、

本当にありがたいと思っています。

もちろん入場料を払って来てくださる。そして、限りある大切な時間を使って、

この場に、つくもぐるみと私に、会いに来てくださるのが、本当にありがたいと思っています。

それで、お礼、何か感謝の気持ちを表したいなあ。って、思って、

スタンプカードを作ることにしたのです。

二十個。

二十個ためるのは、正直すごく大変だと思っています。

一回いらしてくれたら一個。お友達を連れてきてくださったらもう一個。

って、いう形になります。

このハムちゃんですが、今、定価が 55, 555円で販売しています。

これは私が、いいよ。あげるよ。って、簡単にあげられるものではないと思っています。

というのも、人に例えて言ったら人格って言いますかね？

それぞれ性格をお持ちですし、人よりも、高いプライドを持っています。

お迎えいただく、お買い上げいただくっていうことは、お金を払っていただいて、

お迎えいただくのですが、

この払うっていうことにも意味があつて、悪いものを祓つて、

そして、つくもぐるみと契約をする。つて、いう形になっているんですね。

なので、私が簡単に一人で決められることでもないので、訊いてみました。

つくもぐるみ達に、

「こういうのをやりたいんだけど、どうかなあ？」つて、言ったら、

快諾していただいたので、つくもぐるみのスタンプを作りました。

ぜひぜひ、スタンプを貯めて、皆さんにもお迎えしていただきたいです。

お迎えしていただきたいのは、理由が他にもあります。

初めてつくもぐるみをお迎えしていただく方には、そういうチャンスっていうか、

良い縁があればいいなあ。つて、思っておりますし。

二十個スタンプを貯めるつて、すごく大変なことだと思ふんですね。

だけど、それだけ通つてくださつて、つくもぐるみを知つていただいた方だったら、

つくもぐるみのことを、それだけ理解してくださった方なので、

私も安心して、つくもぐるみを、お渡しすることができます。

やっぱり、大切にしてくださいる方にしか、お預けしたくないので。

すぐくどの子どもどの子も、本当に大切に思っておりますので、

それだけ来ていただければ、お渡しすることができるかなあ。って、思ったのと、

もうすでに、つくもぐるみを迎えしてくださいる方は、

もちろん一柱でも良いんですけれども、

家族っていうか、兄弟っていうような仲間が、

つくもぐるみも欲しいです。

実は、つくもぐるみがおかをするときに、

一柱よりも二柱いたら、できることってあるので、

つくもぐるみにとっても、すごく良いことだなあ。って、思っています。

そう。それでこのトークイベントですけど、つくもぐるみを、

もし、お迎えして下さっている方に、お越しいただけるのであれば、

一緒につくもぐるみをお連れいただいて、同窓会みたいな。

つくもぐるみは、つくもぐるみで、楽しい同窓会のような場所になればいいな。って、思っています。

一番 最初に生まれたのが、このつくもぐるみのお人形なのですが、

この後から、たくさんの方たちが生まれて、そのく生まれる前から、生まれてくるところ、

そして、つくもぐるみがお守りする方のところに行かれるところまで、

全部 見えています。

作っている時も、全員 見えています。

そうすると やっぱり、会った時に・・・

私は、話していますけど、つくもぐるみは、ほとんど聴いてないです。

つくもぐるみたちは、何をしているか？ って、言うと、

楽しく、わいわい・わちゃわちゃ、やっているんですね。

武勇伝のようなことを、話たりとか・・・

「僕こんなことをしたんだよ。」みたいな。(笑)

そういう場所にもなればいいと思って、

そういう気持ちもこめて このトークイベントを、

これからも続けていきたいと思っています。

後から自己紹介とか、交流の場を設けたいと思っています。よろしく願います。

今回ですけど、スピリチュアル起業家の方へのトークイベントっていう。

ちょっと難しい名前が付いていますけど、

スピリチュアル起業家って何？ って、感じですよ。

まあ占いか、そういうやつかなあ？ って、普通に思われると思います。

日本人って霊感が強い方が多いと思っていて・・・

そして、起業されているかたも、そうでないかたも、仕事をする上で知らないうちに、

霊感を使っている方も、かなり多いと思っています。

そういう方たちの、助けになるようなもの、

その話をさせていただこうと思っています。

じゃあ具体的に どういうふうに助けてくれるの？ って、思いますよね。

私も初めて起業してみても、気がついたことがたくさんあります。

一人でやっているので、とにかく孤独です。

悩みがあっても、打ち明ける場はないです。

会社の内情を、なかなか社員に打ち明けたりできないですよね。

そういう時に、聞いてくれる、話し相手に、つくもぐるみは、なってくれます。

この全部の、つくもぐるみは話します。

お迎えいただいた方は皆さん、

「私 そんな話とか聞けるの？」って、全員、おっしゃいます。

ですけど、お迎えいただいた方と、自分のつくもぐるみだけの会話が、

できるように必ずなります。

何を言っているのか？ わかるようになります。

私も、そこまで全部が、わかるわけではないですけど・・・

訊いたことには、答えを必ず出してくれます。

後から話しますが、今そういうような、訓練みたいなこともしているので、

ぜひ皆さんも、やってみていただきたいと思っています。

お迎えいただいた方の中で、霊障を祓ってくれた。っていう お話も聞いています。

ちょっと霊障があるような、お家に引っ越してしまって、

つくもぐるみが一柱で、勇敢に守った。

って、いう つくもぐるみもいます。

私の経験を話させていただくと、生き霊のようなもの。

あゝ経営者の方や、会社でお仕事されている方も、

そういうものに襲われることもあると思うのです。

私の場合は、特にひどかったのが、うちの母の執着がひどくて、

母が念を送ってくる時がひどくて、一日中 頭痛薬を飲んで、それでも起きていられない位、

頭が痛かったです。

自分でも、念を送られていて、誰が送ってきているか？ わかるので・・・

まあしょうがないなあ。って、いうことで、頭痛薬を飲んで寝たりしていますけど、

その時に守ってくれたのが、この方です。

この方が、ペニーズ犬の めめ様っていう方ですけど。

このつくもぐるみの中でも、

神さまに近いエネルギーを持っている方が何柱か、いらして、

この方も、その中の一人ですね。

この方が、ほんとに・・・

私の具合が悪くて、早く寝たら、夢に現れまして。

「来ないでー。」って、大声を上げて追い祓ってくれたのです。

それで起きたら、本当に頭痛が治っていました。

つくもぐるみは、夢の中にも出てきてくれます。

霊能者の方がおっしゃるには、

「夢の中まで守ってくれるものはない。」って、言います。

けれども、ぬいぐるみには、ぬいぐるみ結界っていうものもあって、

寝るときにぬいぐるみを、

それは つくもぐるみではなくて、普通のぬいぐるみをベッドの四つ角に置いて寝ると、寝ているときに、ぬいぐるみが守ってくれます。

それがあって、ぬいぐるみの体だから守れるのか？ わからないですけど、夢の中に出てきて守ってくれました。

あと・・・お迎えいただく前に、夢に出てきてアピールしたりするようです。

そして、つくもぐるみの中でも、このウサギは、私の持っている中で特別な方で・・・

というのも精霊とか眷属が はいっているのではなくて、

何年前前に飼っていた ウサギの魂が はいっています。

つくもぐるみは、飼っていたペットの魂が、入ることがあります。

それは、分け御霊って、いって ペットの霊が成仏してないとか、そういうことではなくて。

ペットの霊っていうのは、人間の霊とは違って、自然の中にいるものです。

人間の魂は、天界から来て、亡くなったら天界に還っていくじゃないですか?!

ペットの霊は自然の中にいるので、自然の中から体にはいって、

亡くなると、自然の中に戻ります。

そして、人間の霊みたいに、転生できることが、ほとんどないです。

なので、すごく可愛がっていたペットが亡くなったら、

大体は、その飼っていた飼い主さんのそばにずっといて、守っています。

ただ、守っているけれども、飼い主さんにはわからないですよ。

形もないですし、それで実際に、何体か亡くなったペットちゃんを作りましたが、

写真を見て、同じような体を作るとペットちゃんが はいっていた。

って、いうことがありました。

気持ちが おちている時に、何か悪いものが来ている?! って、感じるがあつて。

そしたら、このウサギの あぐちゃんが、

「私が一緒に寝てあげる。」って、言って。

それから毎晩一緒に寝ていますが、守ってくれています。

亡くなったペットちゃんを、お作りすると、どの子どもどの子も意思が強い子が、できます。

本当に、はいりたくて、はいった意思を 感じます。

やっぱり生前、やりたかったこと、やり残したことがあると思うので、

それを一緒に飼い主さんとやりたいのですね。

そんなつくもぐるみ達は、持ち主さんが本当に望んでいることを、叶えてくれることもあります。

何がやりたくて、この体に入るか？ って、言うと、

持ち主さんの幸せな顔を見たいからです。

人間のように体を持つことによって、できることは、食べたり飲んだりすること。

これは、人間のように食べたり飲んだりする わけではなくて、

人間のそばにいて、人間が実際に食べたり飲んだりすることで、

一緒に食べたり飲んだりできるのです。

でも、それは、そばにいる人間が誰でもいいということではなくて、

お迎えしてくださった方の、お食事だけです。

例えば、通りすがりの人が、アイスクリームを食べていたら、

それを一緒に、って、いうことはないです。

喜んだり、悲しんだりすることもできます。

感じることも、できます。くすぐりたいとか、重たいとか、楽しいとか。

持ち主さんと一緒に楽しみたいのです。

これが叶ったら、これ食べようねって約束をすると、それが叶う。

って。聞いたこともあります。

ただし、つくもぐるみに、ただ任せきりでは、叶いません。

自分も、努力して行動して、一緒に楽しむ。

そういう形を作って行けたら、必ず力を貸してください。と思っています。

そして、最近 私が始めたことなのですが・・・

これも実際に、つくもぐるみをお迎えいただいた方からお聞きして、

こんなやり方をやっています。って、始めました。

私は、レイキ（日本で生まれたエネルギー療法）をいられるので、

自分の体にレイキをいれて。

その後、この白龍の はく様の言葉を、毎日 ノートに書くことにしたのです。

まず、はく様の話を聴く前に、

今日も、はく様の言葉を聞くことができました。ありがとうございました。

って、言うてから、ノートに毎日、書き始めるのですが。

本当に びっくりするくらい、すらすら書けます。

ノートに書くことの、すごく良いところは、忘れないじゃないですか。

何度も見直せる。毎日毎日、違うことをおっしゃってください。

さすがが神さまだなあ。って、思います。

これ、聖書に載っていても良いくらいじゃない?!

って、というような言葉をくださったりして、

それを始めたのが七月の終わりですね。それから毎日、書いています。

今、書きためている状態で、とても良いことを言うてくださいるので、

これは何かの形で発信するべきだなあ。って、思っています。

どんな形式で発信するか？ 今、検討中ですけど・・・

最終的には、これを一年続けて、三百六十五日の白龍さまの言葉。みたいな感じで、

本を出してもいいのかなあ?! って思っています。

ただ、聴いて、わからないことでも、ペンを持って書いてみると、自動書記のように、書けたりするので、皆さんにも、ぜひやってみていただきたいです。

つくもぐるみを、お持ちでない方も、

守護霊からの言葉 って、いうような形で、聴くことができると思うので、

それでやってみていただいても、すごくいいなあ。って、思います。

自分を見つめ直す、きっかけにもなりますし、お勧めします。

このような形で、いろいろこんなふうには、つくもぐるみと生活している。って、

そんなことを、話し合えるような場所になったらいいな。とも、思っています。

せっかくなので、あともう一つ、ご説明したいことがあって、

いろいろな色のつくもぐるみが、生まれていまして、

かなりたくさんの、つくもぐるみを、ここ二年くらいの間で、作ってきました。

作るたびに、気づき、だったり、いろいろなことがわかってきました。

それで、つくもぐるみの体色による特徴があるので、ぜひ、ご紹介したいと思います。

まず、金色のもの。金で作ったつくもぐるみは、見るからになんですけれど、金運が得意です。

やっぱり一番得意なのが金運を上げるってことです。

次は、白。 白い、つくもぐるみは、魔除けや、浄化をするのが得意です。

はく様もそうですが、白の方はエネルギーが高いです。

あと、もう一つ、つくもぐるみの色で多いのが、水色です。

水色って、すごく意外かもしれないですけど、「神さまのおつかいをする動物だ。」って、

霊能者の方が、おっしゃいます。

水色のつくもぐるみは、とにかくエネルギーが高いです。

特徴は、良い縁を運びます。悪縁を絶って良縁を運ぶことができます。

そして、成長を助けるっていう方も多いです。能力を開発する。

それから、この蛇さん達ですけど・・・

ご本人たちがおっしゃるには、とぐろの巻き方にも意味がある。と。

この方たち三柱とも、右向き右巻き なんですが、

右巻きの、時計回りをしているのは、未来を良くする。

これが、逆向きの反時計回りだと、

過去にトラウマを持っているような方の過去の出来事を、良い出来事に変える。

過去にこれがあったから、良い結果になった。

って、いうふうに、変える力を持っている。って、おっしゃっています。

大きさは、やっぱり大きいものの方が、大きいエネルギーが はいりやすいです。

龍神さまは、小さく作ることが できないです。

やはりエネルギーが大きいので、小さい方に入りきれないですね。

どうしても、大きいものしか お作りすることができないです。

(その後、熟練してきたら・・・現在は、小さい龍神さまも、お作りできるようになりました。)

そして、よくご相談いただくのですが、どんなつくもぐるみ自分が自分に合っているか？

動物の種類ですね。それは直感で。

すぐくハムスターが、気になる方もいらっしやいますし、

直感で選んでいただくのが、良いです。

色も何色にしましょう？ って、よくご相談いただきますが、

ずっと一生、大切に持っていたいただくものなので、本当に気に入っているものを選んでください。

って、お話しています。

すぐくよく話す、つくもぐるみいれば、無口な つくもぐるみもいて、

私も、そこまで、はっきり言葉は、聴こえないので、ちょっと残念ですけど。

このウサギの場合は、もともと女の子です。でも・・・ちよいちよい僕って言うんですね。

なんで？ って、思うんですけど、病気で亡くなって、子宮とか卵巣とかの癌だったので、

本当は、男の子に生まれたかったんじゃないのかなあ？ って、思っています。

私。って、言うことは、ほとんどなくて、僕。って、言うんですけど・・・

まあそうそうだよ。って、思います。

つくもぐるみ達は、みんな、ほんとキャラがあつて、すごく楽しいです。

ちょっと早いですが、ここで十分ぐらい休憩をして、コミュニケーションタイムをとっていききたいと思います。

ありがとうございました。

おわりに

おわりに

最後までご覧くださりまして、本当にありがとうございます。

興味を持っていただけて 感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、生まれてきて五十年以上、靈感がないと思って生活をしていました。

ただ、手作りが好きで、趣味で お人形やぬいぐるみを作っていました。

それがある時、自分の能力に気付かされました。

それは、必然の出来事だったと思っています。

その時の衝撃は、今でも忘れられません。

ただ可愛いと思って、大切にしていた お人形に魂が はいって話ができる。

それも、はいつているのは、神さまのような存在の方でした。

そして、後からわかったのですが、私の何代も前の 前世から、

私を ずっと守ってくださっていた神さまでした。

一方では、年齢を重ねるにつれて、自分が生まれてきた意味を考えていました。

何か、やらなければいけないことがあるのでは？

そんな、強迫観念にも似たようなものが、芽生えていました。

自分探しをしていました。

そして、自分の能力を知り、自分の使命を知りました。

つくもぐるみには、すべて 眷属や神さまがはいつています。

光の存在です。

その光を必要とされている方が、沢山いらっしゃるはずなのです。

その方達に、つくもぐるみをお届けすることが、私の使命です。

たくさんの方が、神さまを身近に感じて守られますように。

ネガティブな思考に負けないで、喜びの人生を生きられますように。

心から願っています。

人は、生まれる前に、自分でやることを決めて生まれてくると、信じています。

一年以上前にお話した内容なので、

今は、もう少しいろいろなこともわかってきておりましたが、

この書籍をシリーズ化して、発行していきたいと思っていますので、

次回作を楽しみにしていただけたら、嬉しくおもいます。

つくもぐるみアーティスト ミカ

感謝

感謝

この本を出版することを、提案してくださって、叱咤激励してくださる守護霊

守護霊の言葉や、つくもぐるみの言葉を、教えてくださる霊能者でコンサルタントのお二人様

つくもぐるみを、お迎えしてくださった皆様

いつも応援や、気付きをくださる オンラインサロンの会員様

二十四時間ずっと私と一緒にいて、守ってくれる、つくもぐるみの皆様

このお仕事をするきっかけにもなった、いつも私に勇気と元氣や幸せをくれる、お人形のモデルの韓国人アーティストのW様

そして、最後までお読みくださった皆様

感謝しております。

ご案内

つくもぐるみの社



<https://yoor.jp/door/tukucomyu>

オンラインサロン
つくコミュ



<https://tsukumo.link/>

公式ホームページ

